

研究概要の情報公開原稿

化学放射線療法後の救済手術の検討

【研究対象】

2004年4月1日から2014年3月31日までに、頭頸部がんに対して初回治療として化学放射線療法が施行された後に、再発・残存のために、救済手術を受けた方が対象になります。

【概要】

国立がん研究センター東病院の電子カルテの記録を用いて、化学放射線後の救済手術の生存率、合併症発生率、予後不良因子、合併症関連因子を解析し、救済手術の意義を確認し、適切な手術適応を検討します。

【目的】

頭頸部がんに対する化学放射線療法は、多くの施設で標準治療として広く行われています。化学放射線療法を受け、その結果として病気が残存あるいは再発した際は外科的に切除の方が良好な結果を得られることがわかっております。しかし、再発・残存後の救済手術は、放射線治療後の瘢痕や癒着により、部位によっては手術が困難な場合があります。また高い合併症発生率や厳しい予後も報告されております。この救済手術にどれくらいの効果が期待できるのか、またどのような不利益があるのか、当院での状況を評価し、今後の治療に生かしていきます。

【方法】

国立がん研究センター東病院の電子カルテの記録を用いて、化学放射線後の救済手術の生存率、合併症発生率、予後不良因子、合併症関連因子等を解析します。

【個人情報保護に関する配慮】

測定データおよび臨床情報の取り扱いに関しては、被験者の個人情報保護に配慮します。患者様の氏名など、第三者が当該施設の職員やデータベースへの不正アクセスを介さずに直接患者を識別できる情報が事務局のデータベースに登録されることはありません。また、登録情報が入ったデータベースはインターネットと常時接続することのないハードディスクに格納し管理します。なお、学会・論文発表の際には対象患者様の氏名ほか個人が特定されるような情報も

公表することは一切ありません。研究者は個人情報保護法に基づき、被験者の個人情報を厳格に保護します。

また、被験者の測定データおよび臨床情報は本研究にのみ用いられ、研究終了および結果公表後には事務局内に保存します。これらの測定データ・臨床情報および結果が他の研究において利用されることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

国立がん研究センター東病院 頭頸部外科

丸尾 貴志

〒277-8577

千葉県柏市柏の葉 6-5-1

E-mail:tmaruo@east.ncc.go.jp

TEL:04-7133-1111(内線 91372)

FAX:04-7131-6928

【研究責任者】

国立がん研究センター東病院 頭頸部外科

林 隆一

〒277-8577

千葉県柏市柏の葉 6-5-1

電話 04-7133-1111(内線 91715)